

【給食の和食化】

南房総市では既に 2011 年から給食を完全米飯に。和食を中心とした給食を応援する料理人の活動も。

【農業体験は誰が受け入れるか】

表 1 初等中等教育機関、専修学校・各種学校の学校数、在学者数、教員数

区 分	学 校 数 (校)				在 学 者 数 (人)				教 員 数 (本務者) (人)		
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率(%)
幼 稚 園	(-274)	(-)	(-166)	(-108)	(-81,471)	(-261)	(-12,877)	(-68,333)	(-2,320)	(-2,156)	(-)
	8,837	49	2,744	6,044	841,824	4,490	97,889	739,445	85,432	79,805	93.4
幼 保 連 携 型 認 定 こ ど も 園	(325)	(-)	(35)	(290)	(21,869)	(-)	(611)	(21,258)	(5,738)	(5,292)	(-0.1)
	6,982	-	948	6,034	843,280	-	98,398	744,882	142,281	134,697	94.7
小 学 校	(-181)	(-)	(-182)	(1)	(-101,620)	(-320)	(-101,477)	(177)	(857)	(1,146)	(0.2)
	18,980	67	18,669	244	6,049,685	35,721	5,933,907	80,057	424,297	265,522	62.6
中 学 校	(-68)	(-)	(-69)	(1)	(-27,712)	(-152)	(-28,840)	(1,280)	(137)	(733)	(0.3)
	9,944	68	9,095	781	3,177,508	27,004	2,902,882	247,622	247,485	110,280	44.6
義務教育学校	(29)	(-)	(29)	(-)	(8,246)	(-9)	(8,259)	(-4)	(1,080)	(619)	(0.6)
	207	5	201	1	76,045	3,773	72,048	224	7,448	4,035	54.2
高 等 学 校	(-33)	(-)	(-34)	(1)	(-38,399)	(-168)	(-36,247)	(-1,984)	(-1,488)	(195)	(0.3)
	4,791	15	3,455	1,321	2,918,501	8,004	1,897,321	1,013,176	223,246	74,615	33.4
中等教育学校	(-)	(-)	(-)	(-)	(450)	(-13)	(267)	(196)	(80)	(57)	(1.1)
	57	4	35	18	33,817	2,863	23,678	7,276	2,829	1,009	35.7
特別支援学校	(7)	(-)	(7)	(-)	(2,727)	(-46)	(2,750)	(23)	(1,053)	(810)	(0.2)
	1,178	45	1,118	15	151,362	2,856	147,608	898	87,869	55,160	62.8
専 修 学 校	(-31)	(-)	(-2)	(-29)	(-27,623)	(-33)	(-608)	(-26,982)	(-676)	(-327)	(0.1)
	3,020	8	181	2,831	607,951	243	21,844	585,864	39,306	20,591	52.4
うち高等課程 を置く学校	(-10)	(-)	(-)	(-10)	(-484)	(1)	(-30)	(-455)	(-80)	(-45)	(-0.2)
	386	1	6	379	33,150	4	349	32,797	2,395	1,226	51.2
各 種 学 校	(-31)	(-)	(-)	(-31)	(6,063)	(-)	(-70)	(6,133)	(9)	(75)	(0.9)
	1,015	-	5	1,010	108,171	-	374	107,797	8,491	3,777	44.5

(注) ()は、前年度からの増減値である。

資料：文部科学省「令和 5 年度学校基本統計(学校基本調査の結果)」



資料：農林水産省「農業センサス」「農業構造動態調査」より作成

小学生数（R5） 6,049,685 人、 中学生数（R5） 3,177,508 人 合計 9,227,193 人（約 900 万人）

農業従事者数は 116.4 万人（2023 年）で、基幹的農業従事者のうち 65 歳以上は全体の約 5 割

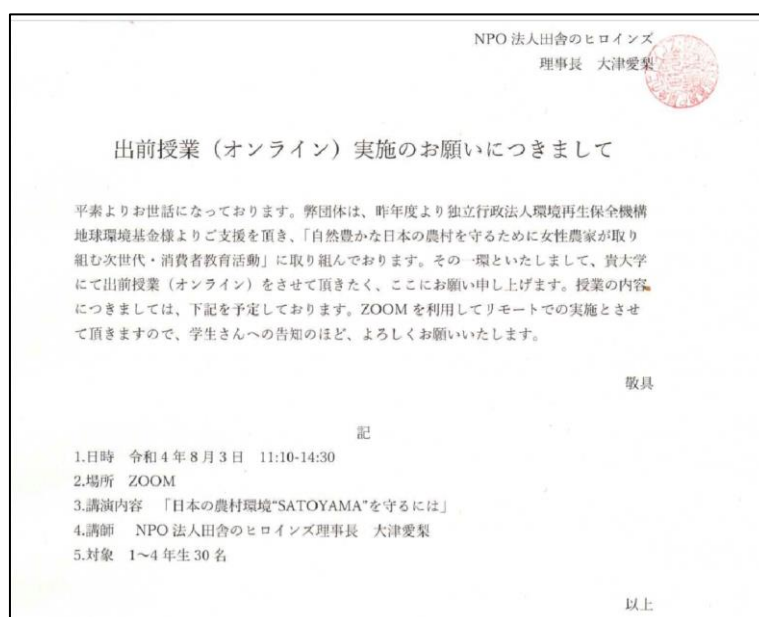
$9,227,193 \div 1,164,000 = \text{約 } 7.9 \text{ 人/人}$

1 クラス 30 人として 1/4 の 65 歳以上農業者がやれば良い計算

【大学編】

女性農業者の団体（NPO 法人田舎のヒロインズ）による大学等への出前授業

→農学部のない大学（慶應大学）での「農業環境論」開設



2021 年 (地球環境基金)	20 回	慶応大学 SFC 一ノ瀬研究室、立命館大学秋吉ゼミ、熊本県立大学、福井県立大学、福井大学国際地域学部、早稲田大学、実践女子大学「地域食料論演習」（主にオンライン）
2022 年 (地球環境基金)	35 回	立命館大学、名古屋大学、慶應大学、熊本県立大学（7 回）、東京農業大学（12 回）、熊本大学（4 回）、一橋大学、早稲田大学、お茶の水女子大学附属中学校
2023 年 (大学側の予算)	12 回	東京農業大学（7 回）、一橋大学、上智大学、慶應大学、熊本大学（2 回）



(左：コロナ禍、右：022 年以降)

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスに誕生した「農業環境論」(2024 年 9 月開講)

シラバス

科目名 農業環境論

授業概要

学部・研究科	総合政策・環境情報学部	登録番号	46929
科目ソート	X1130	科目名	農業環境論
分野	特設科目	単位	2単位
開講年度・学期	2024 秋学期	K-Number	FPE-CO-06103-211-88
同一科目			
アспект			

開講年度・学期	2024 秋学期
曜日・時限	金 4限
授業教員名	大津 愛梨, 小島 希世子

講義概要

人間を含む生物は生きていくために食べなければならず、安定的に食べるものを確保するために、人間は農耕を始め、そこから文明を発達させてきた。しかし発達の結果として分業が進み、昨今では日々の暮らしと農業が分断されている状況にあり、生命を支える根底

に農業があることを認識する機会が少なくなっている。多くの国民は、農業の実態だけでなく、農業が営まれていることによって形成されてきた環境や社会や文化について知る機会がほとんどない。本講座では、持続可能な社会における農業の存在意義・多面的機能などを、5つのキーワード（環境、教育、観光・インバウンド、福祉・ウェルビーイング、エネルギー）から、九州・阿蘇と藤沢市で農業を営む2人の卒業生と一緒に考察していく。食料生産にとどまらない農業の幅広い役割を深掘りすることで、持続可能な未来の設計について考える。

主題と目標

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)は、藤沢市北部の都市郊外、農村地域に位置しているが、総合政策学部・環境情報学部・政策・メディア研究科にはこれまで「農業」を直接的に扱った授業は存在していなかった。農業生産のGDPに占める割合は約1%とされ、農業が日本経済に対して直接的に及ぼす影響は小さくなっている。しかし、人間活動の歴史が長い日本列島においては、農業（一次産業である林業、水産業も含め）が国土の維持に大きな役割を果たしてきており、地球環境問題が人類共通の課題となる中で、その役割はますます大きくなりつつある。加えて、これまでの産業としての農業に留まらず、「農」がもたらす、様々な機能（観光や教育など）が注目されるようになってきている。学生たちがSFCの周辺地域を理解し、農業の課題に取り組み、その可能性を活かすために、そして不確実な時代に生きるすべを考えるきっかけとして、本講義を行っていく。

【高校編】

甲子園は高校の部活動でありながら、全試合が全国放送される唯一の競技。2019年にはJA全農が協賛し、各都道府県の農産物などをアピールするCMを流した。

農業高校は「農業者のタネ」を育成する重要な教育機関であるにも関わらず、生徒数が減っている。

野球の名監督を招聘することで、「心身ともに健康な中学生たち」が農業高校を目指すのでは？

卒業後に野球を辞めたとしても、農業のことを学んだ子たちの数が増えれば、就農障壁が下がるのでは？